

## 平成30年度 国際理解ワークショップ 進行シート

作成日： 2018 年 8 月 3 日

大学名： 新潟国際情報大学

タイトル： 世界の紛争をのぞいてみると… ～争いと私の関係～

**1：本ワークショップの要旨**

紛争はいつ、どこで、どうして起こるのだろう。紛争と一口に言っても、きょうだいや友達との口論から、酔っ払い同士の殴り合いのけんか、さらには武力紛争（内戦や国家間の戦争）まで、その質と規模は様々である。このワークショップでは、カンボジア紛争を取り上げ、その原因を私たちの日常生活で起こる身近な紛争と比べ、共通点や相違点を探る。紛争の特質を理解することで、遠くの国で起きている私たちとは無関係な紛争が、実は、日常生活の中の争いと関係していることに気づいてもらいたい。そして一人一人が何を感じるかを大切に‘自分ごととして紛争’について参加者と共に考えたい。

**2：本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)**

紛争といっても武力紛争だけではなく、身近にも争いが潜んでいて、それが大きな紛争になりうるという事に気づいてもらいたい。本ワークショップでは、カンボジア紛争を他人事としてとらえず、問題意識をもって考えてもらうことを目的としている。

**3：本トピックをとりあげる理由**

カンボジア紛争は私たちからしたら、一見関係ないように思える。しかしカンボジア紛争のような武力紛争もきっかけをたどると個人的な対立から始まっているのかもしれない。逆に言えば日常で起こる小さな紛争も大きな紛争に発展しうる。私達はその可能性に危機感を覚え、参加者にそれを伝えたくて本トピックをとりあげる。

4 : 活動過程 (使用時間 : 86 分 参加人数 : )

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
--------------	------	--------------------	-----	---------------	---------------------

<p>導入：起 (30分)</p>	<p>あいさつ (1分)</p> <p>導入(1分)</p> <p>日本とカンボジアを比べよう! (3分)</p> <p>クイズラリー (25分)</p>	<p>大学生の自己紹介</p> <p>本ワークショップの目的・流れの説明</p> <p>2つの国の風景を見比べて、どちらが日本なのか、カンボジアなのかを予想してもらう。カンボジアのお札を見てもらう。</p> <p>各チームにクイズの問題の書いてある紙を配り、その問題を解くために教室に配置された各ブースを回り、ヒントを得る。</p> <p>答え合わせ</p>	<p>大学生の顔を覚えてもらう</p> <p>目的や流れを確認してもらう。</p> <p>カンボジアについて知ってもらい、日本と似ている点や、友好関係等を知ってもらう。</p> <p>カンボジアの基礎情報を楽しむ、わかりやすく覚えてもらう。</p>	<p>名札シール</p> <p>パワーポイント</p> <p>パワーポイント カンボジアのお札</p> <p>机 椅子</p>	<p>ワークショップの雰囲気づくりを意識する。</p>
-----------------------	---	---	--	---	-----------------------------

展開：承 (13分)	カンボジア紛争について知ろう (3分)	カンボジアではどんな紛争があったのか、現在では、どのような影響が残っているのかを紹介する	カンボジア紛争について知ってもらう	パワーポイント	
	地雷に関する問い・詳しい説明 (5分)	参加者に対し地雷に関する問いを出す。地雷の種類や威力など詳しい説明をする	地雷に対しての知識を深めてもらう	パワーポイント 地雷の模型	
	地雷の被害の説明 (5分)	実際に地雷の被害にあった1人の男の子を紹介する。	地雷が与える身体的・精神的ダメージを参加者に知ってもらう	パワーポイント 資料	

<p>発 展 : 転 (15 分)</p>	<p>紛争とは? (2分)</p>	<p>参加者自身に辞書 で紛争の意味を調 べてもらう。</p>	<p>紛争の定義につ いて理解しても らう</p>	<p>パワーポイント 辞書</p>	<p>自分たちで定義を 示す前に、参加者に 調べてもらう</p>
	<p>身近な紛争をた くさん出そう! (3分)</p>	<p>辞書で調べた紛争 の意味を踏まえな がら自分自身の身 近な紛争をグルー プであげる。</p>	<p>身近にも紛争が たくさんあるこ とに気づいても らう。</p>	<p>模造紙 ペン ポストイット</p>	
	<p>紛争分析 1 (5分)</p>	<p>グループで出した 身近な紛争から 1 つを選び、個人で その紛争を分析し てもらう。</p>	<p>自分たちが出し た身近な紛争の 起こる原因やき っかけ等につい て考えてもら う。</p>	<p>用紙 ペン</p>	
	<p>共有 (5分)</p>	<p>分析ワーク 1 の共 有をしてもらう</p>	<p>お互いの身近な 紛争・そのきっ かけ等を知って もらう</p>		

<p>まとめ：結 ( 28分)</p>	<p>紛争分析2 (10分)</p> <p>身近な紛争とカンボジア紛争の共通点と違いを探ろう! (10分)</p> <p>ワークショップの感想共有 (5分)</p> <p>まとめ(3分)</p>	<p>カンボジア紛争の原因について、マインドマップを作りながら考えてもらう。</p> <p>分析ワーク1と分析ワーク2の結果から共通点と相違点を個人で考える。</p> <p>本ワークショップを通じて気づいたことや自分の考えなどをグループで考えてもらう。</p> <p>本ワークショップを通じて伝えたいことや目的・流れの振り返り</p>	<p>カンボジア紛争の起こった原因を考える。</p> <p>共通点と相違点を探ることで、紛争と自分との関係を考えてもらう</p> <p>グループ内で意見を交換しお互いの考えを知ってもらう</p>	<p>模造紙 ペン キーワード用紙</p> <p>用紙 ペン</p> <p>パワーポイント</p>	<p>自分たちの伝えたいことをしっかり伝えられるようにする</p>
-------------------------	---	---	---	---	-----------------------------------

## 5：会場のセッティング

## 6：使用する教材

パソコン、スクリーン、プロジェクター、ポインター、ペン、模造紙、ポストイット、カンボジアのお札

## 7：参考にした資料

・「悪魔の兵器 地雷」一般財団法人 カンボジア地雷撤去キャンペーン

<<http://cmc-net.jp/old/survivor/children5.html>>

・「地雷の基礎知識」(2016) PEACE BOARD<<http://peaceboat.org/16956.html>>

・上杉勇司・小林綾子ほか(編)(2010)『ワークショップで学ぶ紛争解決と平和構築』明石書店

・大杉賢二(2011)『地雷原の子ども達と共に カンボジア地雷撤去キャンペーン活動の軌跡』海鳥社

・郡山総一郎(2005)『戦争の後に来たもの カンボジアが映す時代』新日本出版社

・山田裕史(2008)「カンボジア」広瀬佳一・小笠原高雪ほか(編)『ユーラシアの紛争と平和』

明石書店 pp.51-71.

## 8：その他